

学位論文要旨

学位論文題目 都市観光におけるレトロ風商店街の開発と真正性に関する研究
—中国済南世茂寛厚里を中心に—

申請者氏名 周 曉 飛

近年、古い町並みの残る都市景観がレトロ消費やノスタルジー消費の対象として再発見され、さらには消費空間として擬似的に創出・再現されるといった状況も生まれている。本論文はこうした状況を踏まえ、中国の「レトロ風商店街」の開発をめぐる再編される都市空間の諸相について考察し、現代都市観光のありようを考える上で示唆的な内容と言える。

本論の目的は、都市観光の位置にある済南世茂寛厚里の開発と発展といった形成過程に着目し、歴史に基づいた立地、観光行為を引き起こすソーシャルメディア、過去と現在をつなげる老舗、構内の景観づくりをめぐる、同施設の特異性と優位性の分析を通して、寛厚里のようなレトロ風商店街の開発と発展は地域おこしと文化振興に役割があることを明らかにすることである。そしてそのうえで、観光客の視点からレトロ風商店街は真正性を有していることを究明することである。

研究目的を完遂するために、本稿は文献研究、事例研究、複数の関係機構の責任者、旅行会社、観光客へのインタビューとアンケート調査を実施した。諸考察によって、各章の目的と本論の研究目的を明らかにした。

本稿は序章と終章を含め、7章からなっている。まず各章の内容をまとめておこう。

序章では、本論の調査対象の性質を明確にし、研究目的を明らかにした。また、先行研究の諸議論を踏まえたうえで、本論独自の理論——「喚起された真正性」を提示した。

第1章では、中国の「特色街区」の概念と日本の「観光まちづくり」の概念を概観したうえで、日中両国の都市におけるレトロ景観を先行事例として分析した。各事例の開発・発展の紹介を通して、レトロというコンセプトは都市観光においてとても魅力的な発想であり、地域おこしと文化振興に役割を果たすことを明らかにした。また、歴史に基づいて再現した町並みは、歴史的なつながりが少ないテーマパークより、持続可能な発展を遂げる可能性が高いことが判明した。したがって、古い建物があまり残っていないところにも観光資源として活かされる価値があり、本論の研究対象として研究する意義があると判断できた。

第2章では、寛厚里をより全面的に分析するため、所屬地域の山東省と済南市の概要を記した。また、寛厚里管理委員会のオウ課長へのインタビュー調査を通し、寛厚所街の歴史的背景や寛厚里の開発の経緯などの情報を得た。また、観光客を対象とするアンケート調査を行い、寛厚里は確かに知名度が昔の寛厚所街より高くなったことが分かった。さらに、観光客のまなざしから寛厚里商店街の全体像を捉え、観光客はレトロな雰囲気に関心をもち、好感をもつことを明確にした。

第3章では、寛厚里商店街が人気を博すきっかけとなった「ティックトック」というソーシャルメディアについて分析を行い、ソーシャルメディアと観光地の相互作用を検討した。「ソーシャルメディア時代」には、ショートムービーアプリというプラットフォームによって、たくさんの「有名人」や「有名地」が創出されて

いる。それらの人気にあやかり、新しい観光地も誕生した。寛厚里商店街はその代表例の1つである。連音社の男子グループをきっかけに、寛厚里に関連するショートムービーはソーシャルメディアで急増している。これらのショートムービーは寛厚里の全体像から、独特なアイテムまで宣伝している。商業広告ではないため、一般のマスコミの紹介と比べると、ショートムービーのほうがより真正性があるので、視聴者の観光動機となったことが分かった。その結果として、視聴者の寛厚里に対するイメージは、ショートムービーアプリによって新たに創り出されている。この擬似的な創出が、普通の観光と異なっている真正性を構築することを検証した。

第4章では、再帰的なまなざしで寛厚里商店街における老舗の喚起された真正性を考察した。老舗は過去と現在、経済と文化を繋ぐ媒介として、単なる商業施設だけではなく、地元の文化をアピールする役割もある。山東省老舗企業協会へのインタビューを通して、寛厚里では18軒の老舗が群れのかたちで営業し、寛厚里の3期プログラムに大きな役割を果たしたことが分かった。また、アンケート調査によって、観光客は老舗に対する特別な感情をもつことが明らかにされた。さらに、観光客に対するインタビュー調査を実施し、観光客は老舗を通して自分のことを振り返り、再び自分を認識する過程で、新たな観光行為を構築することを究明した。

第5章では、寛厚里商店街の全体像を分析し、中国における「レトロ風商店街」の観光開発は地域の文化をいかに呈示しているのかを考察した。さらに、「喚起された真正性」の概念を利用し、観光客の記憶に残されている真正性に対するイメージは、寛厚里のレトロな景観づくりや、文化的要素など観光対象に類似または一致するところがあるので、観光客はその観光対象に真正性があると判断することを検討した。そして観光客の体験という主観的要素が「真正性」を評価する時に非常に重要であることが明らかになった。観光客に対するアンケート調査を通して、寛厚里は古い建物があまり残されていないが、「ある歴史的様子を再現する」、「寛厚里で歴史・文化を知る」と思う観光客が多いことを明らかにした。この意味で、寛厚里は真正性を有している観光地と言える。

そこで結論として、歴史的建造物が少ない地域におけるレトロ風商店街を観光資源として活用する模索は必要であると言える。その開発と発展は都市の特性に応じて行われるため、歴史の「破壊」とは言えなく、逆に地域おこしと文化振興に有意義である。古い建物が少なくても、歴史に基づいて再現することによって、観光客のまなざしから「真正性」を有する観光地となる可能性もある。また、ソーシャルメディアと老舗が能動的に役割を果たし、都市観光における新たな真正性を構築することになる。

学位論文審査の概要と結果

報告番号	東アジア博 甲 第 号	氏 名	周曉飛
論文題目	都市観光におけるレトロ風商店街の開発と真正性に関する研究 —中国済南世茂寛厚里を中心に		
(論文審査概要)			
<p>周曉飛氏の学位申請論文は、中国済南市においてレトロ風商店街として再生された寛厚里を研究対象地として、都市開発の視点から、文化観光の持続可能性について考察したものである。寛厚里の特徴を明示化するため、成都の寛窄巷子や大分県の豊後高田市昭和の町などと文献による比較研究を行い、さらに寛厚里に関するフィールドワークを行っている。なお、本文の構成は以下のとおりである。</p> <p>序章 第1章 現代都市における特色街区とレトロ風商店街 第2章 研究対象地域の概要 第3章 ソーシャルメディアに構築された真正性 第4章 老舗と喚起された真正性 第5章 レトロ風商店街と喚起された真正性 終章 増章 参考文献 付録</p> <p>次に、当学位審査論文の分野別の評価は以下のとおりである。</p> <p>1. 創造性 伝統的な街並みに関する先行研究を十分に渉猟し、従来の説を十分に理解したうえで本研究を行っている。先行研究とは異なった、今まで注目されてこなかった種類の観光地を研究対象地域として着目し、自らの視座を大切にする姿勢をもって従来の観光地と比較分析を行ったことから本研究の独創性が見られる。政府主体の開発が多い中国において民間主導で開発された点や、現存する伝統的な建築物の少ない地域でレトロ風な街並みの再生が行われた点、再生した街並みにも関わらず持続的な集客が成功している点など、従来の研究対象地域とは異なり、創造性は優れている。</p> <p>2. 論理性 本研究の各章は適正な論証手続きに基づいてリサーチクエスチョンを検証している。前回の学位審査の時に指摘された真正性を全面的に強調した分析方法の問題点を改善し、伝統的な街並み保存と都市開発の成功事例の一要素として真正性を扱うように全面的に構成を変えたので、論文全体の論理性に関して達成されている。</p> <p>3. 厳格性 先行研究を十分に渉猟し、本研究の位置づけを明らかにした後、従来の研究方法を元にインタビューやアンケートの設計を行っている。インタビューやアンケートもまた小規模な予備調査を行った後に修正を加えた本調査を行い、必要時応じてさらに調査を加えている。調査手順を踏んでおり、研究全体の厳格性は達成されているが、アンケートの結果の解釈に関しては一部主観的な部分もあるので、できれば客観的に分析できる部分とそうでない所との分類が望ましい。</p>			

4. 発展性(選択的記述項目)

寛窄巷子や大分県の豊後高田市昭和の町といった古い建物が数多く残っている地域と寛厚里のように古風に見えるように再開発した街並みを比較しているのは良いが、寛厚里と同様の開発を行った他地域との比較があれば寛厚里の特徴がより明らかになった。門司港レトロの先行研究は挙げられているが、中国における同様の開発の事例は挙げられていない。むろん、古風に見えるように再開発した街並みについての先行研究が少なかったのが今回の研究を行ったわけであるが、コロナ禍が収まってから今回の寛厚里と同様の調査を続ければより普遍的な研究に発展すると思われる。

上記のように全般的には丁寧に調査され、それを元に論文が執筆されている。ただし、今回の論文でのアンケート調査のみでは結果を断定できない部分があるいくつかあるので、部分的に表記の工夫が求められる。なお、修正は短期間で可能な軽微なものであると判断し、本論文を「合」とした。

論文審査結果

合 · 否

審査委員 主査 (氏名) 朝水 宗彦

(氏名) 成島 敬

(氏名) 有村 貞則

(氏名) 野村 淳一

(氏名) _____ ㊟